

日頃から地震に備えよう!

<p>震度 5弱 大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、壁などに軽微なひび割れ・亀裂が入ることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは、倒れることがある。 亀裂や液状化、落石、がけ崩れが発生することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 	<p>震度 5強 物につかまらなると歩くことが難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	<p>震度 6弱 立っていることが困難になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
<p>震度 6強 はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。 	<p>震度 7 動くこともできず、飛ばされることもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、倒れるものが増える。 広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。 	<p>液状化の発生も考えておきましょう</p> <p>液状化が発生すると、建物の倒壊や道路の沈下が起こり、通行が難しくなる場合があります。液状化が発生する可能性がある場所をあらかじめ確認しておき、より安全に避難できるルートを考えてみましょう。</p>

震度分布図・液状化危険度分布図で、自分の居場所の危険を知ろう P.6-7

地震発生! The Great Japan Shake Out

高層階はより大きく・長く揺れます(長周期地震動)

長周期地震動とは? 周期が長い揺れで、家具類が倒れたり落ちたりする危険があります

火事に注意しましょう

ブロック塀に注意しましょう

壊れた建物に注意しましょう

車は道路の左脇へ寄せ、鍵はつけたままで避難しましょう

家、建物の中でも比較的安全な場所に移動しましょう

避難場所 避難所

まずやること

シェイクアウト The Great Japan Shake Out

低い姿勢で、頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。

DROP! COVER! HOLD ON!

まず低く 頭を守り 動かない

避難時の注意 - あわてず、冷静に

すばやく火の始末 「火を消せ!」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。

周りに気を付けよう 塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。

余震に注意 余震が繰り返し起こります。あらかじめ危険の少ない避難路を調べておきましょう。

いろいろな場所での対応の仕方

地震から命を守るために、いざという時のとっさの避難行動や、安全でスムーズに避難するための方法を日頃から考えておきましょう。

<p>家の中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頭を保護し、机の下などに逃げましょう。 ●ガス器具、ストーブなどの火を消しましょう。(元栓を締める) ●電気ブレーカーを落としましょう。 	<p>職場・学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カバンなどで頭を保護し、机の下などに逃げましょう。 ●本棚などの転倒に注意しましょう。 	<p>店舗・スーパー等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頭を保護し、ショーケースなどから離れましょう。 ●壁や太い柱に身を寄せましょう。あわてて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。
<p>人が大勢いる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あわてて走り出すと危険です。係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。 	<p>エレベーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すぐに各階のボタンをすべて押し、停止した階でおりましょう。 ●閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めましょう。 	<p>自動車の運転中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路の左側か空き地に車を止め、エンジンを止めましょう。 ●警察官が交通規制を行っている場合は、その指示に従いましょう。 ●車を離れるときはキーをつけたままにし、ドアをロックしないでおきましょう。

新居浜市住宅耐震改修費等補助金 検索

新居浜市では、南海トラフ等巨大地震に対する対策として、木造住宅の耐震対策やブロック塀の改修費用等の一部を補助しています。詳細は、建築指導課のHPをご確認ください。

建築指導課 TEL:65-1273

新居浜市家具転倒防止等対策費補助金 検索

新居浜市では、地震発生時の家具転倒防止等による人的被害を最小限に抑えることを目的として、自力では家具転倒防止器具及びガラス飛散防止フィルムの施工が困難な皆さんを対象に、家具転倒防止等推進事業を実施しています。詳細は危機管理課のHPをご確認ください。

危機管理課 TEL:65-1282

家具の転倒防止対策

家具の下敷きにならないように固定しましょう

地震によるけがを防止するため、各家庭において対策を行うことが大変重要です。

- L字金具
- チェーン固定
- 開き戸固定
- ガラス飛散防止フィルム

水・食料の備蓄

3日間をしのぐ

震災直後は、冷蔵庫の中をはじめ、台所周りに買い置きしている普段の食材・飲料水を工夫して食べましょう。

飲料水は、1人で1日3リットル
3リットル×家族分(4人)×3日間
=36リットル(2Lペットボトル18本分)

詳しくは P.86 へ